

【君津地域】平成 30 年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

| | | | |
|-------|--------|-----|-------|
| 設置場所 | 木更津市 | 品種 | アキヒカリ |
| 土性 | 砂土 | 播種日 | 3月21日 |
| 播種量 | 160g/箱 | 移植日 | 4月22日 |
| 幼穂形成期 | 6月13日 | 出穂期 | 7月7日 |
| 成熟期 | 8月13日 | 収穫日 | 8月16日 |

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

| | | | |
|------|---------------------|-------|-----------|
| 稈長 | 83cm | 穂長 | 18.1cm |
| 穂数 | 472本/m ² | 倒伏程度 | 0.5 |
| 粗玄米重 | 600kg/10a | 標準単収値 | 529kg/10a |

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：牛糞堆肥
- ・施用量：2,000kg/10a
- ・施用時期：平成29年9月（5年以上連用）

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・（基肥）N量：3.9kg/10a ※肥料銘柄：飼料用米専用一発15
- ・（追肥）N量：－ ※肥料銘柄：－
追肥実施日：－

(3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日（5月中旬を推奨）：4月22日

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度（55株/坪を推奨）：53株/坪
- ・植付本数（4～6本/株を推奨）：4.6本/株

4 考察等

堆肥を施用したレタス栽培の後作であるため施肥量を少なくしたほか、栽培管理のポイントに基づいた管理の実施によって、高い収量を得ることができた。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

| | アキヒカリ |
|------|-----------------|
| 基肥N量 | 9kg/10a（砂質土の場合） |
| 穂肥N量 | 3kg/10a |

※穂肥は、幼穂形成期（幼穂が1～2mmの時期）に施用します